

Title	日本のホテル産業再生に関する一考察 - バイアウト活用によるホテル企業の価値創造 -
Sub Title	
Author	伊藤, 文一(Itou, Fumikazu) 小幡, 績
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2005
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2005年度経営学 第2026号 不可
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002005-2026">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002005-2026</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 論文要旨

所属ゼミ	小幡 研究会	学籍番号	80430142	氏名	伊藤 文一
<p>(論文題名)</p> <p style="text-align: center;">日本のホテル産業再生に関する一考察 — バイアウト活用によるホテル企業の価値創造 —</p>					
<p>(内容の要旨)</p> <p>本研究においては、「再生」を企業価値創造の実現にとらえ、日本のホテル産業にフォーカスしたバイアウトによる企業価値創造策を具体的に考察した。日本のホテル産業を取り上げた理由は、ホテル企業へのバイアウト投資に取り組んだ経験に加え、ホテル産業の再生にバイアウトを活用するメリットが存在するのではないかとの問題意識からである。</p> <p>本研究の目的は、バイアウトがどのような企業を投資対象にし、実際に日本でバイアウトがどのようにして企業価値を創造しているのかを解明することにある。加えて、バイアウトが何故ホテル産業を再生する一手法として有効なのかを解明することである。</p> <p>研究方法は、まず、バイアウトとホテル事業の文献研究を通じて、バイアウトによるホテル企業の企業価値創造手法のフレームワークを構築した。これは、その理論的背景の構築し、事例研究における検証のメルクマールにすることが目的である。そして、事例研究を通じて日本におけるバイアウト投資の実情を考察し、その成功要因を導いた。なお、構築したフレームワークは、Copeland 他 (1996) による著書「バリュエーション—価値創造の理論と実践」等に基づいた。</p> <p>結論として、バイアウトをホテル企業の価値創造に活用する利点として、ホテルの成長の実現手段としてバイアウトを活用による追加的買収戦略の有用性、所有機能と経営・運営機能の分社化戦略を促進する効果の2点を指摘した。最後に、次のような提言を行った。</p> <p><b>【バイアウト対象企業の選定に関して】</b></p> <p>次の要件を全て満たす必要はないが、適合条件が増えれば、企業価値創造の実現可能性が向上する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大企業の非関連多角化や停滞企業のケースであること</li> <li>2. 業績に対する天候や景気の影響が大きくなり、キャッシュフローの見通しを立てやすいこと</li> <li>3. オペレーションが過度に複雑でないこと</li> <li>4. 価値創造のために必要な戦略を実行する上で大きな障害が存在しないこと</li> <li>5. 優秀な経営者が社内存在すること</li> </ol> <p><b>【企業価値創造の手法に関して】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 企業価値創造のためのシンプルな思考と徹底した実行</li> <li>2. 追加的買収の実行による企業の成長の促進</li> <li>3. 分社化戦略の実行</li> <li>4. 適度なレバレッジの活用</li> <li>5. 変革をもたらす(外部) 経営者の起用</li> <li>6. 経営者に対するインセンティブの付与</li> </ol>					